

やまがた緑環境税を活用した取組み

【平成 26 年度 荒廃森林緊急整備事業の取組み事例】 庄内総合支庁

整備区分	長期育成林整備 【 間伐 】				
整備箇所	鶴岡市黒川字三礎林 地内			事業主体	山形県
整備面積	28.3ha	樹種	スギ	林齢	30～55年生
整備内容	<p>当該箇所は、間伐等の施業が適期に行われなかったため、造林木が過密に生育しており、林内は暗く鬱閉した状態で、著しく生長の悪い不良木や枯損木が目立っていた。</p> <p>このため、本事業の実施により形質の悪く、今後の生長が見込めない立木を伐採し林内に空間を作ることによって、今後、健全なスギ林分へ生長していくことが期待できる。</p>				



整備前



整備後

整備区分	針広混交林整備 【 抜き切り 】				
整備箇所	酒田市中野俣字白石沢 地内			事業主体	山形県
整備面積	2.2ha	樹種	スギ・広葉樹	林齢	40～55年生
整備内容	<p>当該箇所は、長期間管理が放棄されたことにより灌木類や高木性広葉樹などの侵入によって造林木の生育が阻害されており、経済林としての生育が見込めない状況であった。</p> <p>そこで、当該箇所ではスギ及び枯損した広葉樹を強度間伐し、林内に空間を作ったことで、下層植生の生長を促し、公益的機能を備えた針広混交林への転換を図る。</p>				



整備前



整備後

やまがた緑環境税を活用した取組み

【平成 26 年度 荒廃森林緊急整備事業の取組み事例】 庄内総合支庁

整備区分	里山林再生 【 枯損木等伐採 】				
整備箇所	酒田市地見興屋字内山 地内			事業主体	山形県
整備面積	7.3ha	樹種	マツ・広葉樹	林齢	39～61年生
整備内容	<p>当該箇所は道路沿線から、松くい虫等による枯損木が多数見られる状態であった。 本事業の実施によって、枯損木を伐採することで、道路への倒木等の二次被害の抑制につながるのと同時に、里山林としての景観を改善することができた。</p>				



整備前



整備後

整備区分	里山林再生 【 森林景観整備（除伐、下刈、枝落とし、つる切り） 】				
整備箇所	酒田市北俣字於楚野 地内 外			事業主体	酒田市
整備面積	2.4ha	樹種	スギ・広葉樹	林齢	25～32年生
整備内容	<p>当該箇所は、県道 363 号線沿いの針葉樹林で、林内に灌木等が繁茂し、下刈りなどの手入れもされていないため、道路沿線からの景観が著しく悪化していた。 本事業の実施により林内の形質不良木・灌木の伐採、スギの枝落とし等を行うことで、林内を見渡すことができるようになり、道路沿線からの景観を改善することができた。</p>				



整備前



整備後